

介護支援専門員実務研修

10日目

(午後:ニーズの把握)

ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術

第7－②章

アセスメント及びニーズの把握方法

第3節 アセスメントからニーズを

導き出す思考過程

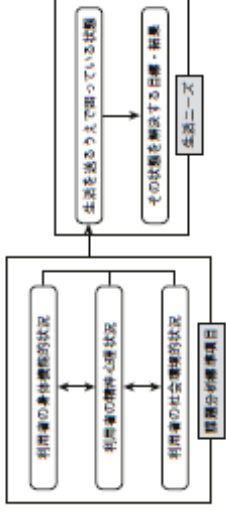
- (3) 自覚されていない場合
- (4) 利用者の意向を聞き出す
- (5) 生活ニーズの優先順位

第3節 アセスメントからニーズを

導き出す思考過程

- 1. 生活ニーズ
 - (1) 生活ニーズの定義
 - (2) 生活ニーズの記述方法

図7-②-3-1 課題分析標準項目を踏まえた生活ニーズの導き出し方



アセスメントの手順(再掲)

3.問題を整理、分析・統合する

- ①問題を整理する ⇒「起きている問題の理解」
- ②情報を分析・統合
 - ◆利用者本人の状態と環境である背景を意識
 - ・原因は何か、何が影響しているのか
 - ◆課題分析(アセスメント)項目の奥行き情報を把握
 - ・いつからどのように始まったのか
 - ◆疾患との関連、ADLとの関連、家族関係(介護力)等との関連を捉えながら分析を繰り返す
 - ◆支援が必要な状況を明らかにするだけでなく、**利用者や家族の持つ力の強さ、可能性にも着目**

生活課題(ニーズ)の抽出

- ◆「表現された訴え」を様々な角度から分析し
“利用者にとって必要なことは何か”を常に意識しながら、「悩み、困っていること」「問題」が対象者の生活にどのような影響を与えているのか、その程度はどの程度か、本人や家族の対処する力(内的資源)はどの程度かを見積もりながら裏の「ニーズ」を理解していく。

生活課題(ニーズ)の抽出

- 1.主訴は何か
「表現された訴えは何か」
- 2.ニーズの優先順位
 - ・健康維持、生活の基盤に直結したもの
 - ・悪循環の原因となっていること
 - ・利用者が困っていると感じていること
 - ・援助を望んでいること
 - ・効果が見込まれるもの

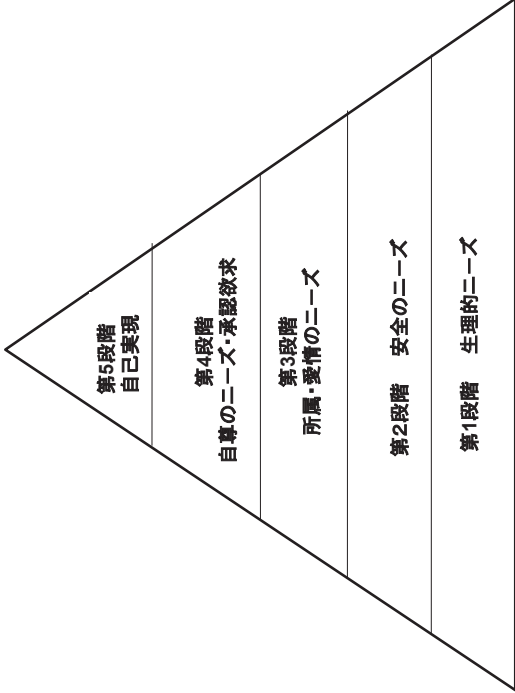


図3. A. H. マズローのニーズの階層性

第3節 アセスメントからニーズを導き出す思考過程

P. 464

3. アセスメントツール
 - (1) 法的な規定を理解する
 - 1) 適切な方法
 - 2) 課題分析の実施

第3節 アセスメントからニーズを
導き出す思考過程

P. 465

(2) アセスメントツールの選択

- 1) 自分で使いやすいものを選択する
- 2) 事業所で使用するツールを使う
- 3) アセスメントに使用されている様式

(3) アセスメントシート

各自の事例で確認(演習)

ステップⅣ

- ・「必要な支援」から、ニーズを把握
- ・ニーズの優先順位を考える